

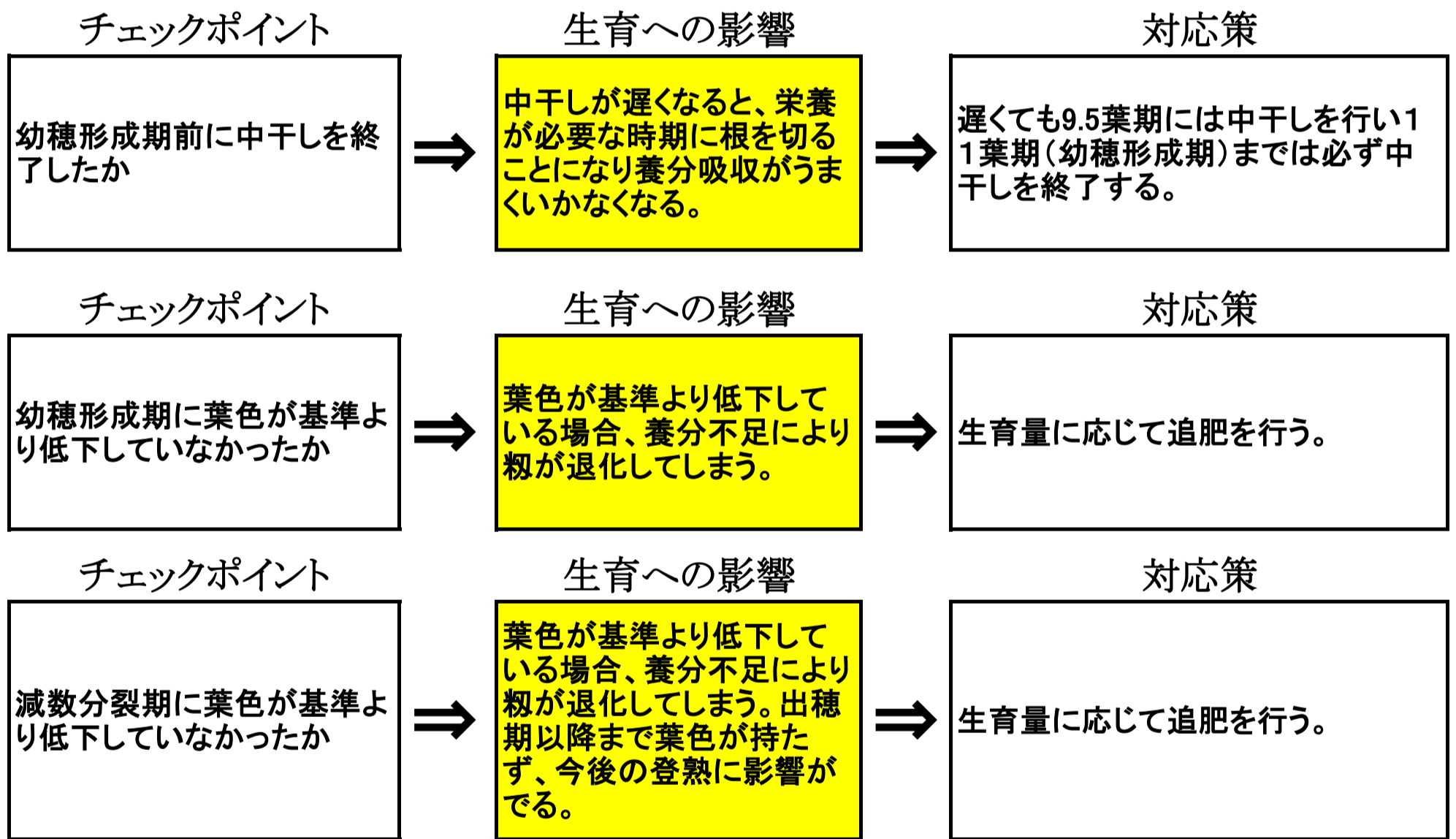
単収確保に向けて 《第5弾》

生育量に応じて適期穂肥を実施しよう！

単収確保に向けた重点実施事項

7月に入り、いよいよ幼穂形成期を迎えます。これからの追肥、圃場管理によって秋の収量・品質が決まります。下記の内容を確認し、単収確保に向け、徹底した管理をお願い致します。

◎今後の管理について



○幼穂形成期の追肥の効果

・葉色を維持することにより、籾の退化を防ぎ、籾殻を大きくする効果があります。

○減数分裂期の追肥の効果

・登熟の向上、稲体維持、高温時の乳白粒の発生防止に効果があります。

○今後の水管理について

・中干し終了後は、間断かん水(2日湛水、3日落水)を行い、活力維持してください。

チェックポイントを点検し
該当する対応策を実施しましょう。